

平成 29 年度町政懇談会記録(要旨)

開催日 : 平成 29 年 9 月 24 日 (日)

開会 : 午後 1 時 00 分 閉会 : 午後 1 時 55 分

場所 : 穴太多目的研修センター

参加者 : 男 17 人、女 1 人 計 18 人

町職員 : 町長、副町長、建設部参事、上下水道課長、政策課長

○懇談

男性 (1) オレンジバスについて、いなべ市は福祉バスを無料で運行していきまして、土、日曜日、祝日は運休しています。東員町は、1 年 365 日走らせていますが、その辺はどのように考えていらっしゃいますか。また、正月三が日は、正直 30 人も乗っていないんじゃないかと思うんですが、乗車数のデータは持っていますか。正月や土、日曜日、祝日を運休にして、バス事業費を安くできないんですか。

政策課長 いなべ市は無料で、白ナンバーで運行をしていて、いなべ市の担当者ともお話をさせていただくんですが、非常に危ないというところがあって、東員町は緑ナンバーで運行させていただいています。運行日に関しまして、正月は先ほどおっしゃられたように非常に少ないです。現在、きちんと乗車数を調査しておりますのは、年に 2 日間で、平日と休日を実態調査をさせていただいています。しかし、今おっしゃられたように、もう少し細かく利用者数を把握する必要があるということで、バスの乗り降りの数をカメラで数えるという機器を設置する予算を、この度の議会で予算要求して予算をつけていただきました。これでしっかりとした人数を把握して、この日はいるというの把握と、個々のバス停の利用者数を把握して、バスのルートとダイヤを考えていきたいと思っています。

男性 (1) せめて、日曜、盆、正月くらい運行停止にすれば、1 割くらいは事業費もやすくなるんじゃないですか。

政策課長 この地区は東部線というのが走っているんですが、他にネオポリス、東員駅、イオン、北勢中央公園口を通る南北線というのがあります。これは日曜日の昼間も結構利用者が多く、そういった利用者が多いところは残し、少ないところは考えさせていただくというふうに考えていきたいと思っています。

男性 (2) 新しい農業によるまちづくりに関して、先ほど大豆の話がされたと思うんですが、その業者は東員町の業者なんですか。

建設部参事 その事業所は四日市市にございます。現在、東員町では大豆が150ヘクタールくらい作られています。これは転作として作られています、なかなか収穫量が少ない。全国平均の三分の一を下回っています。そんな中で、これを全国平均まで上げていき農業収入を上げていく。それから、この四日市市の業者というのが、大豆をまるごと使用するという試みをやっています、このまるごとというものに興味をもち、ぜひ東員町でということ今話をさせていただいております。そういったことが、今現実味をおびてきていますので、これから農家の方に色々とお話をさせていただき、大豆の生産を真剣に行ってもらい、6次産業化までつなげていく。そういった、農業者の収入の増大、働く人の雇用の拡大の2つを狙った事業をすすめています。正式に決まり次第皆さんにご紹介をさせていただきたいと思ひます。

町長 農業の企業誘致をやろうとしています。

男性（2） 四日市市の業者さんはビジネスとして成り立っているんですか。

建設部参事 ビジネスとして立派に成り立っています、今はよその地区から大豆を買い取って海外にも輸出しているような会社です。

男性（2） 東員町で大豆を作って、その業者に売って、農業収入を上げるということですか。

建設部参事 業者だけではなく、農業者と業者でなんらかの組織を立ち上げようと思ひますが、農業者も儲かるような事業展開を考えていきます。

男性（3） オレンジバスですが、車両が13年目になっています。修繕費もけっこうかかると思ひますが、何年後に廃車にして新車にするとかそういった計画はあるんですか。

政策課長 今80万km乗らせていただひています。年にもよりますが、昨年度は、修繕費3台で300百万円ほどかかりました。これから修繕費が減っていくとも考えられませんが、今思ひておりますのは、後3年間は今のバスを使わせていただひて、その間に、先ほどおっしゃっていただひたようにバスの運休日を増やすだとか、以前シニアクラブさんからいただひたようにもっと狭い道を走れるような形態を考えるなど、東員町全体の考えを構築して、その上で、今の29人乗りのバスが3台いるのか、その辺も考えて新しい車両更新を考えていきたひと思ひています。

男性（3） 修繕費は町が負担しているのか、バス事業者が負担しているのかどっちですか。

政策課長 修繕費は、タイヤとか油、ブレーキパットなどは業者負担です。車両の構造に関わ

るもの、例えばミッションとかターボなどの不具合は町負担でさせていただいています。ステップとかはよく揉めるんですが、業者負担です。

男性（3） 高い事業費払っているんだからその辺もバス事業者負担で契約できないものか。

政策課長 車両の主要部分に関しては、業者負担というのがなかなか難しいところがあります。この10月以降の運行に関して、条件付きの一般競争入札をさせていただきまして、2台が八風バス、1台が三岐バスと決まりまして後3年はこの2社で運行されます。

男性（3） 十数年たっても平均10万人しか乗らない現実がある。それでも6千万円かかる。今後ルート代えたりなにしようが20万人いたりしないと思う。今後財政が厳しくなっていく東員町で、それでも6千万円かけていくのが本当に必要なのか、そろそろ総括していただいて、必要な人には200円でも300円払ってもらったりして、きちんと運行してもらうことを考えてもらう必要があると考えて問題提議させてもらいました。

町長 適正な受益者負担かどうかということだと思うんですが、先ほど政策課長が言ったように、本当に大きなバスで空気を運んでいるということでもいいのか、と。そういったものを見直していかなければいけないというのが我々の考えなんです。本当に必要なのは仕方がないとしても、そうではないところ、あるいは、かたちが変われば、自分の家まで来てくれるなら乗るよ、ということもあるかもしれません。筑紫の方がよく、筑紫の集落の中は走れんわな、と言われますが、車両をもっと小型化すればひよっとすると乗られるかもしれない。これも可能性ですが、こういったことも含めてテーブルにおいて我々も検討する、そんな時期にきているんじゃないかと思っておりますので、3年位お時間をいただいてしっかりと検討していきたいと思っております。運行費用も税金ですので、受益者負担の公平性というののもあって然りと思っておりますので、ちょっと検討させていただきたいと思っております。